

40 地域コミュニティ関連事業【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

人とのつながりが感じられ、支えあうことができます。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

地域の伝統的、文化的活動が継承され、未来にわたって地域を誇りに思えるよう、取組みを支援する。

事業概要	<p>内容</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大に伴い、対面でのコミュニケーションの機会が減ったことによる地域コミュニティの希薄化や、地域コミュニティ活動の担い手不足が懸念されています。</p> <p>令和5年度は、令和4年度に引き続き、デジタルツール利用の講習会を実施するほか、モデルとなる町会を選定し、日頃の活動でのデジタル活用支援をしていきます。また、地域団体に対し、ICT機器の活用環境を新たに整備する費用について、50万円を上限に、令和5年度までの時限で引き続き助成（助成率：10/10）します。</p> <p>さらに、地域活動や意見交換の場を多く設けるほか、納涼大会や餅つきといった地域自らが実施するイベントについて、複数団体が共同して実施するイベントに係る補助の上限を、「2団体以上で30万円」から「3団体以上で45万円」に引き上げます。</p>
------	--

事業費	予算現額	決算額	執行率
(1) 地域コミュニティ醸成支援	32,852,000円	25,116,009円	76.5%
(2) コミュニティ活動事業助成	26,650,000円	23,119,180円	86.8%

事業実績	<p>○令和5年度実績</p> <p>(1) 地域コミュニティ醸成支援事業 デジタル活用講習会を7回開催しました。デジタル活用に関する疑問・悩み相談をヘルプデスクで受け付けました（延べ対応件数131件）。 また、機器購入助成を申請した町会等を中心に、幅広い団体に訪問支援を実施しました（延べ訪問団体数75団体、参加者数443人）。</p> <p>(2) コミュニティ活動事業助成事業</p> <p>① デジタル環境整備費用の助成</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体数</td> <td style="text-align: center;">27団体</td> <td style="text-align: center;">29団体</td> </tr> <tr> <td>助成金額</td> <td style="text-align: right;">12,753,445円</td> <td style="text-align: right;">12,255,501円</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 団体の地域活動への助成</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>1団体</th> <th>2団体</th> <th>3団体以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td style="text-align: center;">40件</td> <td style="text-align: center;">10件</td> <td style="text-align: center;">9件</td> </tr> <tr> <td>助成金額</td> <td style="text-align: right;">5,309,385円</td> <td style="text-align: right;">1,500,000円</td> <td style="text-align: right;">3,556,350円</td> </tr> </tbody> </table>		令和5年度	令和4年度	団体数	27団体	29団体	助成金額	12,753,445円	12,255,501円		1団体	2団体	3団体以上	件数	40件	10件	9件	助成金額	5,309,385円	1,500,000円	3,556,350円
	令和5年度	令和4年度																				
団体数	27団体	29団体																				
助成金額	12,753,445円	12,255,501円																				
	1団体	2団体	3団体以上																			
件数	40件	10件	9件																			
助成金額	5,309,385円	1,500,000円	3,556,350円																			

令和7年度予算への対応	<p>実績を踏まえた評価・課題</p> <p>令和6年度は、デジタル機器の導入後も、訪問支援等のアフターフォローを行うことにより、地域団体が継続してデジタル機器の活用等ができるよう取り組んでいます。一方で、導入そのものに消極的な団体があることや、団体内のデジタルデバイドの解消が課題です。</p> <p>令和7年度は、令和6年度に引き続き、デジタル機器の有効活用を進め、情報発信や活動の効率化による町会活動の活性化や新しいつながりの獲得に向けて、訪問やヘルプデスクなどによる支援を継続して実施します。</p>
-------------	--

所管課 地域振興部 コミュニティ総務課	決算参考書	198頁	R5予算の概要	73頁
---------------------	-------	------	---------	-----

41 内幸町ホール（維持補修等）【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

伝統や歴史、文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになっています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

歴史、文化、芸術活動を身近に感じることができるよう、様々な活動が行われる環境づくりなどを進める。

（関連する主な分野別計画：千代田区文化芸術プラン（第四次））

事業概要	内容	<p>内幸町ホールは、平成9年7月の開設以来、多目的劇場として区民に各種文化活動の場を提供しており、令和3年9月に策定された「千代田区文化芸術プラン（第四次）」では、文化芸術拠点施設として位置づけられましたが、施設が老朽化していることから、大規模改修が必要です。 令和5年度は、改修に係る現状調査と設計を行います。</p>							
	事業費	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算現額</th> <th>決算額</th> <th>執行率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16,333,000円</td> <td>11,085,000円</td> <td>67.9%</td> </tr> </tbody> </table>	予算現額	決算額	執行率	16,333,000円	11,085,000円	67.9%	
予算現額	決算額	執行率							
16,333,000円	11,085,000円	67.9%							
事業実績	<p>○令和5年度実績 令和5年8月から、施設内外や設備等の老朽化の状況を調査しました。 令和6年2月に、現状調査の結果に基づき、施設の基本設計に着手しました。</p>								
実績を踏まえた評価・課題 令和6年度の取組状況 令和7年度予算への対応	<p>現状調査の結果、改修を要する箇所が多岐にわたることが判明したため、具体的な改修内容を精査していく必要があります。 令和6年度は、引き続き基本設計を実施し具体的な改修内容を決定したのち、実施設計を進め、施設の平面プランや必要な機能を決定します。また、改修期間中の備品の取扱いに関して検討します。 令和7年度は、令和8年度の供用開始をめざし、改修工事に着手する予定です。</p>								

42 会館施設予約システム【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

人とのつながりが感じられ、支えあうことができます。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

地域の伝統的、文化的活動が継承され、未来にわたって地域を誇りに思えるよう、取組みを支援する。

事業概要	内容	<p>区民館集会室、コミュニティスクール及びちよだパークサイドプラザの施設予約システムとして現在運用している会館施設予約システムは、空室状況の確認や施設の予約についてオンラインで対応しています。しかし、施設の利用申請や使用料の支払いについては、施設の利用者が直接窓口で手続きを行う必要があります。</p> <p>令和5年度は、利便性の向上を図るため、オンラインでの手続きを含めた新たなシステムの検討・構築に着手します。</p>							
	事業費	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算現額</th> <th>決算額</th> <th>執行率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50,482,000円</td> <td>10,194,440円</td> <td>20.2%</td> </tr> </tbody> </table>	予算現額	決算額	執行率	50,482,000円	10,194,440円	20.2%	
予算現額	決算額	執行率							
50,482,000円	10,194,440円	20.2%							
事業実績	<p>○令和5年度実績</p> <p>利用者の利便性向上及び職員の業務効率化の実現のため、必要な機能の検討を行ったうえで、システム構築に着手しました。</p> <p>また、システム構築にあたっては、システムを利用する複数部署間で横断的な検討を行い、現行システムの調査や、新システムの要件定義、システム間のデータ移行テストに取り組みました。</p> <p>※令和5年度はシステムの要件定義等を行い、システムの設計や機器の調達等は令和6年度に実施することになったため、執行率が低くなりました。</p>								
令和7年度予算への対応	<p>実績を踏まえた評価・課題</p> <p>令和6年度の取組状況</p> <p>令和7年度予算への対応</p> <p>コロナ禍を経て社会全体でデジタル化が急速に進んでいることから、区民館集会室等の施設予約システムにおいても、インターネット上での施設の利用申請や使用料のオンライン決済等、施設利用に係る手続きを来庁不要で完結できる環境の整備が必要です。</p> <p>また、システムの切り替えに伴う利用者への丁寧な周知も求められます。</p> <p>令和6年度は、令和5年度に引き続き、システム構築・データ移行業務に取り組み、学校施設においても本システムの導入を行います。また、新システムの稼働に伴い、利用者に分かりやすく周知を行っていきます。</p> <p>令和7年度は、システムの運用により、区民に安定した施設予約環境を提供します。</p>								

43 利子補給金、信用保証料【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

企業の持続的な成長が地域を活性化させられるよう、区内中小企業、商工業事業者の主体的な取組みを支援する。

（関連する主な分野別計画：千代田区産業振興基本計画）

事業概要

内容

区は、中小企業者の事業経営を資金面から支援することを目的に商工融資あっせん制度を設け、事業者が低利で融資を利用できるよう、区が利子の一部を補給するとともに、一部資金について代表者が区民の場合は信用保証料の補助も行っています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響による資金需要は一定の区切りを迎えたように見受けられる一方、物価高騰など、中小企業者の経営を脅かす新たな要因が生じています。

令和5年度は、利率の本人負担率が低い新資金「経営サブリ資金」を設けるとともに、資金の借換需要に応えられるよう、融資限度額が高く、融資期間も長めに設定した新資金「借換一本化資金」を設けることで、特に環境変化の影響を受けやすい小規模事業者の経営を下支えします。

事業費

	予算現額	決算額	執行率
(1) 利子補給金	114,460,000円	93,307,239円	81.5%
(2) 信用保証料	34,417,000円	22,777,945円	66.2%

事業実績

○令和5年度実績

物価高騰対策支援として「経営サブリ資金」と、コロナ資金の元金返済開始に伴い返済月額負担緩和が図れるよう返済期間の延伸を目的とした「借換一本化資金」を単年度で設置しました。

■経営サブリ資金等の融資実績

資金名	区分	件数	金額
経営サブリ資金	あっせん	81件	675,360,000円
	貸付	77件	598,320,000円
	利子補給	77件	3,519,433円
	信用保証料補助	55件	10,171,851円
借換一本化資金	あっせん	8件	75,500,000円
	貸付	6件	58,500,000円
	利子補給	6件	228,238円
	信用保証料補助		

実績を踏まえた評価・課題
令和6年度の取組状況
令和7年度予算への対応

物価高騰やアフターコロナに対応する新資金を設置した結果、令和5年度の貸付金額の実績は前年度比56.1%増となり一定の効果が見られました。

令和7年度は、令和6年度に引き続き、事業者のニーズや社会課題の解決に向けた支援内容等について検討を進めていきます。

44 商店街装飾灯支援【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

企業の持続的な成長が地域を活性化させられるよう、区内中小企業、商工業事業者の主体的な取組みを支援する。

（関連する主な分野別計画：千代田区産業振興基本計画）

事業概要	内容	区は、区内商店会が所有・管理している商店街装飾灯の維持に要する経費として、電気料金に対する補助を行っています。 令和5年度は、この補助率を1/3から1/2に引き上げることで、エネルギー価格高騰による区内商店会の電気料金の負担軽減を図ります。					
	事業費	予算現額 1,031,000円	決算額 336,868円	執行率 32.7%			
事業実績	○令和5年度実績						
	<table border="1"> <tr> <td>交付団体</td> <td>8商店会</td> </tr> <tr> <td>補助金交付額</td> <td>336,868円</td> </tr> </table> ※装飾灯のLED化や定額電灯契約への変更が進んだことにより、各商店会の電気料金支出額が減少し、執行率が低くなりました。	交付団体	8商店会	補助金交付額	336,868円		
交付団体	8商店会						
補助金交付額	336,868円						
実績を踏まえた評価・課題 令和6年度取組状況への対応 令和7年度予算への対応	エネルギー価格の高騰等により、区内商店会の負担が増大する中であっても、商店街のにぎわいを創出する装飾灯の維持管理ができるような支援が必要です。 令和6年度も引き続き、補助による支援を行います。 令和7年度は、社会状況の変化にも注視しながら、支援内容の検討を行います。						

45 中小企業等経営支援【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

企業の持続的な成長が地域を活性化させられるよう、区内中小企業、商工業事業者の主体的な取組みを支援する。
（関連する主な分野別計画：千代田区産業振興基本計画）

事業概要

内容

区は、自社の製品、技術又はサービス等を有する中小企業等の販路拡大の機会を確保するため、商工関係団体による展示会の開催や中小企業の展示会出展に係る経費について補助を行っています。
令和5年度は、展示会出展に係る経費を補助する対象について、これまでの中小企業のほか、区が承認した商工関係団体に拡大します。

事業費

予算現額

決算額

執行率

10,432,000円

9,629,480円

92.3%

事業実績

○令和5年度実績

（1）中小企業販路拡大事業支援補助

事業種別	補助対象	件数	補助金交付額
開催事業	区が承認した商工関係団体	0件	0円
出展事業	中小企業	36件	5,387,000円
	区が承認した商工関係団体	1件	330,000円

（2）区内中小企業の景況調査・分析の実施

報告書をホームページ上に公開し、中小企業や関係団体等へ情報提供を行いました。

（3）「補助金・助成金自動診断システム」の公開

利用可能な補助金・助成金等を事業者が検索できるシステムをホームページ上に公開しました。

実績を踏まえた評価・課題
令和7年度予算への対応

近年、中小企業への交付実績は件数、交付額ともに増加傾向にあり、今後も多くの申請が見込まれます。現地開催やオンライン開催など展示会の開催方式が多様化する中で、中小企業等がそれぞれに合った展示会选择して主体的に出展を行うことができるよう、引き続き当制度による支援が必要です。
令和7年度は、令和6年度に引き続き、中小企業や区が承認した商工関係団体に対し展示会開催や展示会出展にかかる経費の補助を行い、中小企業等の販路拡大を図ります。

所管課 地域振興部 商工観光課

決算参考書

206頁

R5予算の概要

69頁

46 産業コミュニティ形成支援事業【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等

活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

企業の持続的な成長が地域を活性化させられるよう、区内中小企業、商工業事業者の主体的な取組みを支援する。
（関連する主な分野別計画：千代田区産業振興基本計画）

事業概要	内容	<p>新産業及びスタートアップ企業の集積のためには、エコシステム（関連する事業者や区内のステークホルダー同士のコミュニティ）の形成が重要です。</p> <p>令和5年度は、スタートアップ企業に関連するセミナーや事業者同士の交流会といったイベント、SNSの活用を通じたPR施策を実施するとともに、オンラインコミュニケーションツールなどのWebサービスを活用したコミュニティの場を構築することにより、対面・オンラインの両面からエコシステムの形成を支援します。</p>
------	----	---

事業費	予算現額	決算額	執行率
	25,995,000円	25,964,400円	99.9%

事業実績	<p>○令和5年度実績</p> <p>区内のスタートアップ企業及びステークホルダーの相互交流の場として、産業コミュニティ「千代田CULTURE×TECH」を立ち上げ、各種施策を実施しました。</p> <p>(1) 産業コミュニティ形成に係るコンセプト立案及び実施計画の策定</p> <p>(2) 産業コミュニティ形成に係る各種イベントの実施（全3回）</p> <p>第1回：キックオフイベント（参加者：114名）</p> <p>第2回：VC※¹/CVC※²とのマッチングイベント（参加者：4社+10名）</p> <p>第3回：ビジネスコンテスト（登壇：7社、観覧者：52名）</p> <p>※¹VC（Venture Capital）：スタートアップ企業や成長期の企業に投資する投資家や投資会社</p> <p>※²CVC（Corporate Venture Capital）：大企業がスタートアップ企業に投資するために設立した、基金を運用する投資部門</p> <p>(3) デジタルツールを活用したコミュニケーションインフラの構築及び運用 Slack上に専用のワークスペースを構築し、運用しました。</p> <p>(4) 情報発信（Webサイトの作成、SNS運用等） コミュニティメンバー向けにSlack、Webサイト上でスタートアップ関連イベント・展示会情報や事業者インタビュー、活動報告等の情報配信を行いました。</p>
------	---

令和7年度予算への対応	<p>実績を踏まえた評価・課題</p> <p>令和6年度は、学生アイデアソン※企画の実施や、都主催のスタートアップイベント「SusHi Tech Tokyo 2024」への出展など、事業内容をさらに充実させるとともに、コミュニティ参加企業がさらに支援を受けやすくなるよう、参加ステークホルダーの拡大を図ります。</p> <p>令和7年度は、事業開始からの実績を踏まえた検証を行い、今後の事業内容を検討していきます。</p> <p>※アイデアソン：チームやグループでアイデアを出し合うこと</p>
-------------	---

所管課 地域振興部 商工観光課	決算参考書	206頁	R5予算の概要	70頁
-----------------	-------	------	---------	-----

47 新産業振興イベント実施支援事業【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等

活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

企業の持続的な成長が地域を活性化させられるよう、区内中小企業、商工業事業者の主体的な取組みを支援する。
（関連する主な分野別計画：千代田区産業振興基本計画）

事業概要	内容	<p>新産業の振興にあたってエコシステム（関連する事業者や区内のステークホルダー同士のコミュニティ）の形成を効果的に進めていくため、社会的な認知の獲得が重要です。</p> <p>令和5年度は、新産業のうち特に千代田区との親和性が期待できるeスポーツの分野について、区内で開催されるイベント経費に対して補助（補助率：1/2、補助限度額：1,000万円）を実施します。</p>		
	事業費	予算現額	決算額	執行率
		10,038,000円	0円	0.0%
事業実績	<p>○令和5年度実績</p> <p>イベント開催に関する補助金の要綱策定と実施内容について検討しましたが、期待される効果とかかる費用が現時点では見合わないという理由から令和5年度の事業実施を見送ることとしました。</p>			
	実績を踏まえた評価・課題 令和7年度予算への対応	<p>令和5年度は、検討の結果、効果と費用が見合わないという課題が挙げられたため、事業内容を整理し、令和6年度以降は地域課題解決支援事業と統合していくこととしました。</p> <p>事業の統合によりイベント実施という形だけでなく、より適切かつ幅広い形での地域課題の解決をめざします。</p>		

所管課 地域振興部 商工観光課	決算参考書	206頁	R5予算の概要	70頁
-----------------	-------	------	---------	-----

48 地域課題解決支援事業【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等

活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

企業の持続的な成長が地域を活性化させられるよう、区内中小企業、商工業事業者の主体的な取組みを支援する。
（関連する主な分野別計画：千代田区産業振興基本計画）

事業概要	内容	<p>スタートアップ企業の効果として、社会に対しての新しい価値の提供や、地域課題解決を通じた社会貢献が期待されます。</p> <p>令和5年度は、東京都が実施予定である事業を活用し、区が提案したテーマについて、区と東京都が審査のうえ選定したスタートアップ企業によるサービス提供を区が受けることで、スタートアップ企業との協業による地域課題解決に取り組めます。</p>

事業費	予算現額	決算額	執行率
	820,000円	0円	0.0%

事業実績	<p>○令和5年度実績</p> <p>東京都の補助事業「区市町村とスタートアップとの協働に対する都の支援事業～UPGRADE with TOKYO～」を活用し、区・都と協働して地域課題（「区内回遊促進のための先進技術の活用」）の解決に取り組むスタートアップ企業を募集しました。</p> <p>選定の結果、デジタルマップアプリを開発・運用している企業に決定しましたが、協議を経て、事業開始は令和6年4月となりました。</p>
------	---

<p>実績を踏まえた評価・課題 令和6年度の取組状況 令和7年度予算への対応</p>	<p>地域固有の課題の解決には、区・東京都・スタートアップ企業のほか、ステークホルダーとの連携をさらに強化し、取り組んでいく必要があります。</p> <p>令和6年度は、「UPGRADE with TOKYO」実施事業について共立女子大学を始めとした区内連携大学や宿泊施設と協働し、デジタルマップを活用した地域の回遊性向上に向けた取組みを試行的に行います。また、新産業振興イベント実施支援事業を統合し、課題抽出のために秋葉原地域の商店街、専門店等地域の事業者や開発事業者、学識経験者などを対象とした意見交換会やアンケート調査を実施します。</p> <p>令和7年度は、令和6年度の実施状況を踏まえ、引き続き地域の課題解決に資する取組みを推進します。</p>
--	--

所管課 地域振興部 商工観光課	決算参考書	206頁	R5予算の概要	70頁
-----------------	-------	------	---------	-----

49 商店街創業支援事業【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等

活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

企業の持続的な成長が地域を活性化させられるよう、区内中小企業、商工業事業者の主体的な取組みを支援する。

（関連する主な分野別計画：千代田区産業振興基本計画）

事業概要	内容	<p>商店街では、会員加入率の低下や空き店舗の増加など、組織力の向上や地域活力の維持が課題となっています。</p> <p>令和5年度は、千代田区内の商店街エリアで創業した事業者を対象に、2年間以上の商店街会員加入を条件として、創業に際し支払った経費の一部について、令和7年度までの時限で補助します。</p> <p>【特定創業支援の証明書を取得している場合】補助率：2／3、補助限度額：50万円</p> <p>【同証明書を取得していない場合】補助率：1／2、補助限度額：30万円</p>
------	----	--

事業費	予算現額	決算額	執行率
	20,000,000円	800,000円	4.0%

事業実績	○令和5年度実績		
		件数	補助額
	特定創業支援証明書取得済	1件	500,000円
	特定創業支援証明書未取得	1件	300,000円
	合計	2件	800,000円
	<p>※本事業の開始が令和5年9月1日となったことや、補助対象となる事業者が少なかったことにより申請件数が想定を大幅に下回ったことから、執行率が低くなりました。</p>		

令和7年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	<p>事業の周知や、制度がより利用しやすいものとなるよう補助要件の見直しを行い、商店街への新しい会員の加入を促進し、地域経済の活性化を図っていく必要があります。</p> <p>令和7年度は、令和6年度に引き続き、区内商店会や商工関係団体に対して、改めて周知活動を展開し利用の拡大を図るとともに、利用要件についても検討し、必要に応じて見直しを実施することで商店会加入の促進につなげます。</p>
-----------------------------	--

所管課 地域振興部 商工観光課	決算参考書	206頁	R5予算の概要	71頁
-----------------	-------	------	---------	-----

50 商店街等産学連携促進事業【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等

活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

企業の持続的な成長が地域を活性化させられるよう、区内中小企業、商工業事業者の主体的な取組みを支援する。
（関連する主な分野別計画：千代田区産業振興基本計画）

事業概要	内容	<p>社会経済状況が大きく変化している現在、さらなる地域経済の活性化を図るため、地域の大学生などの発案や活力を商工関係の活動に活かすことが有益です。</p> <p>令和5年度は、商工関係団体と区内学校が連携し、区内学校の学生が企画段階から参画する、商工関係団体を実施する地域経済活性化のための取組みに対して、令和5年度の時限で補助（補助率：10/10、補助限度額：1,000万円）を行います。これにより、学生が有するアイデアを活かした新たなまちの魅力発掘やまちの知名度の向上などに資する取組みを促進します。</p>
------	----	---

事業費	予算現額	決算額	執行率
	30,000,000円	30,000,000円	100.0%

事業実績	<p>○令和5年度実績</p> <p>(1) 千代田区商店街連合会、千代田区商店街振興組合連合会 事業名：千代田区おみやげプロジェクト 目的：「お土産」にしたい区内の逸品を広く知ってもらうとともに、新しいお土産品の開発等を通じて地域の魅力を再発見する。 連携先：千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム（千代田区キャンパスコンソ） 内容：①おみやげ紹介冊子を5,000部作成 ②オリジナルデザインを皮に施し新たな味を探求した、もなかの試作 ③令和6年3月29日から31日まで区民ホールでおみやげ展示会を開催し、パネルディスカッションや試作したもなかの試食を実施</p> <p>(2) 千代田区商工業連合会 事業名：千代田区商工業連合会ステップアップ事業 目的：学生視点の率直な意見を参考にしながら、組織のあり方をはじめ、組織活力の向上に資する方法を模索し、実装する。 連携先：千代田区キャンパスコンソ 内容：会員の企業情報や旬な製品・サービスを紹介する「マイページ」の設置のほか、過去の学生との連携事業の紹介など、学生の意見を取り入れたWebページを作成</p>
------	--

本事業は、単年度事業であるため、令和5年度で完了しました。
今後も、新たな感性や視点を事業に取り込み、まちの魅力の再発見や千代田区を構成する商店会や企業、学校などを結びつける新たな価値の創出につなげ、地域経済の活性化を図ります。

実績を踏まえた評価・課題
令和6年度取組状況
令和7年度予算への対応

所管課 地域振興部 商工観光課	決算参考書	206頁	R5予算の概要	71頁
-----------------	-------	------	---------	-----

51 レシートを活用した区民生活応援事業【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等

活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

企業の持続的な成長が地域を活性化させられるよう、区内中小企業、商工業事業者の主体的な取組みを支援する。
（関連する主な分野別計画：千代田区産業振興基本計画）

事業概要

内容

区はこれまで、その時々々の社会経済情勢を踏まえ、消費生活支援事業（平成27年度実施）やキャッシュレス決済を活用した地域経済活性化事業（令和3年度実施）等、区民生活や地域経済の支援を目的とした様々な消費喚起施策を行ってきました。

令和5年度は、物価高騰の影響を被る区民生活応援と区内消費喚起のため、区民が区内店舗で消費した際に発行されるレシートをスマートフォンアプリで読み取ることにより、レシートの表示金額に応じた額に対して現金・商品券等の還元を受けることができる取組みを実施します。

また、スマートフォンアプリのダウンロードや使用方法等に関する区民からの問合せに対応するため、コールセンターや専用の支援窓口を設置します。

事業費

予算現額

決算額

執行率

418,618,000円

349,800,019円

83.6%

事業実績

○令和5年度実績

(1) 実施期間：令和5年12月4日～令和6年2月29日

(2) 利用状況

ポイント有効期間	令和5年12月4日～令和6年7月31日
参加対象者	千代田区在住者
対象店舗	レシートが発行できる区内の店舗
ポイント還元上限/日	1,000円
レシート投稿上限/日	3枚
ポイント還元率	最大20%
ポイント還元上限	25,000円
期間中の対象店舗での利用金額	2,051,907,956円
還元ポイント数（決算額）	271,010,251ポイント（＝円）
還元原資に対する執行率	79.9%
利用人数	14,212人
利用された店舗数	23,760店

(3) 支援窓口・コールセンター

	開設期間	利用件数
支援窓口	令和5年11月20日～令和6年3月29日	455件
コールセンター	令和5年11月20日～令和6年3月31日	2,768件

実績を踏まえた評価・課題
令和6年度取組状況への対応
令和7年度予算への対応

本事業は、時限事業であるため、令和6年度で完了となります。
14,000人以上の区民が利用し、区内店舗での利用合計金額は20億円を超え、区内の消費喚起について一定の成果が見られました。一方で、一部の端末ではアプリをダウンロードすることができないといった事象が発生したことやスマートフォンやアプリの利用に不慣れな利用者から多くの問い合わせや意見が寄せられました。

令和6年度は、令和5年度に引き続き、還元ポイントの利用方法を案内するため、コールセンターを設置するとともに、区の窓口でも案内を行います。また、広報紙やSNS、ポスター掲示を通じ、ポイントの有効期限を周知します。

所管課 地域振興部 商工観光課

決算参考書

206頁

R5予算の概要

72頁

52 観光協会運営補助【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

区内の魅力ある資源を効果的に発信するとともに、地方との連携によって区民生活を豊かにする取組みを行う。

事業概要	内容	<p>一般社団法人千代田区観光協会は、区の観光施策を担う中核組織として、区内の多様な活動主体を結び付け、また、区の魅力を引き上げ発信する役割を果たしており、区は観光協会の取組みを側面から支援するため、運営補助などを行っています。</p> <p>令和5年度は、徳川家康をテーマに、江戸城を中心とした資源を活用したイベント等を実施します。</p> <p>また、若年層・女性等の各ターゲットや広く海外への訴求に適した複数のインフルエンサーを活用し、SNSでの区の観光情報の発信を強化します。</p>
------	----	--

事業費	予算現額	決算額	執行率
	206,453,000円	179,582,752円	87.0%

事業実績	<p>○令和5年度実績</p> <p>(1) 観光資源磨き上げ創出事業 令和5年大河ドラマの主人公徳川家康をテーマとしたプロモーションを実施しました。</p> <p>①歴史漫画「家康、千代田城入城」の作成（配布部数：5,000部） ②歴史特別講演「家康、千代田城入城」の実施（参加者数：89名） ③小中高生向け特別授業「歴史を通じ感じる、千代田区のなりたち」の実施（参加者数：81名） ④イベント「ちよだ謎解き 江戸をつらぬく、破魔の弓矢」の実施（謎解きキットの配布：3,435部）</p> <p>(2) 外国人による外国人向けの観光体験レポート ショッピングやグルメ、陶芸体験等のレポートを制作し、発信しました。</p> <p>①ブログ：22件 ②動画制作：9件</p> <p>(3) 東京大回廊写真コンテスト 応募数：911点（入選40点）</p> <p>(4) 皇居千鳥ヶ淵灯ろう流し（納涼のタペ）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>実施日</th> <th>乗船者数</th> <th>灯ろう販売数</th> <th>観覧者数</th> </tr> <tr> <td>令和5年7月26日、27日</td> <td>285名</td> <td>1,541個</td> <td>8,700人</td> </tr> </table>			実施日	乗船者数	灯ろう販売数	観覧者数	令和5年7月26日、27日	285名	1,541個	8,700人
実施日	乗船者数	灯ろう販売数	観覧者数								
令和5年7月26日、27日	285名	1,541個	8,700人								

実績を踏まえた評価・課題 令和6年度予算への対応	<p>機を捉えたプロモーションの実施により、多くの方が千代田区を回遊するきっかけとなりました。観光を取り巻く状況が常に変化している中、千代田区観光協会は、柔軟な事業推進が可能な専門的組織として、今後もインバウンドへの取組みやデジタル技術を用いた事業展開を行っていく必要があります。</p> <p>令和6年度は、話題性のあるコンテンツと千代田区ならではの地域資源を掛け合わせ、より魅力あるコンテンツや体験を訪問客に提供しながら、区内の回遊を促進していきます。</p> <p>令和7年度は、令和6年度に引き続き、新たな観光コンテンツを展開し、区の魅力発信や地域のにぎわいの活性化に取り組めます。</p>		
-----------------------------	---	--	--

所管課 地域振興部 商工観光課	決算参考書	208頁	R5予算の概要	72頁
-----------------	-------	------	---------	-----

53 戸籍事務費【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

基本構想の実現に向けて

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

国制度の円滑な実施とともに、利便性の向上や事務の効率化を図る。

事業概要	内容	<p>令和5年度中に施行する改正戸籍法により、区市町村間での戸籍参照が可能となるため、本籍地以外の区市町村窓口で戸籍証明書の交付が可能となるとともに、戸籍届出時の戸籍証明書の添付が不要となるなど、デジタル化の推進により区民の利便性が向上します。</p> <p>また、令和6年からのマイナンバーカードの海外利用開始に合わせ、公証された氏名の振り仮名に基づき、マイナンバーカードに氏名をローマ字表記できるよう、戸籍に振り仮名を記載することが国において検討されています。</p> <p>令和5年度は、こうした国における戸籍をめぐる新たな動きに迅速に対応できるよう、区の戸籍システムの改修を行うなど、環境を整備していきます。</p>
------	----	--

事業費	予算現額	決算額	執行率
	381,054,000円	79,769,043円	20.9%

事業実績	<p>○令和5年度実績</p> <p>(1) 戸籍法改正（戸籍証明書の広域交付等）対応</p> <p>①法施行に向けた対応 法改正に向け戸籍システムを試行的に稼働し、令和6年3月1日から戸籍証明書の広域交付等を開始しました。</p> <p>②戸籍情報の確認 区市町村側の戸籍の正本と、法務省側の戸籍の副本の情報を突合しました。</p> <p>(2) 郵送請求管理システムの導入 戸籍証明書、住民票の写し等の郵送による請求を管理するシステムを導入しました。</p> <p>※戸籍証明書の広域交付対応について、業務委託を実施せずに対応したことや、戸籍への氏名の振り仮名記載対応に係る戸籍法の施行が令和7年度（予定）となったことに伴い、当該部分に係るシステム改修を令和6年度に行うこととしたため、執行率が低くなりました（予算の一部を令和6年度に繰り越しました）。</p>
------	--

令和7年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	<p>戸籍証明書の広域交付等が開始された一方で、振り仮名記載対応のスケジュールが変更となったため、本籍人（千代田区を本籍地に登録している方）への振り仮名の通知を確実に送付できるよう法施行に向けて準備していく必要があります。</p> <p>令和6年度は、本籍人への振り仮名の通知発送に向けて、住民記録システムで保有する振り仮名情報を戸籍システムに取り込みます。</p> <p>令和7年度は、本籍人への通知発送等を行い、振り仮名を登録し、行政のデジタル化の推進のための基盤整備を進めていきます。</p>
-----------------------------	---

所管課 地域振興部 総合窓口課	決算参考書	208頁	R5予算の概要	74頁
-----------------	-------	------	---------	-----

54 証明書コンビニ交付【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

基本構想の実現に向けて

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

国制度の円滑な実施とともに、利便性の向上や事務の効率化を図る。

事業概要

内容

区は、平成31年2月から、全国のコンビニエンスストアの端末でマイナンバーカードを使用して、住民票の写し等の公的証明書を取得できるサービスを実施しています。
 マイナンバーカードを使用した端末からの公的証明書発行により、発行までにかかる所要時間が短縮されたり、申請書の記入が不要となるほか、早朝や夜間、休日にも取得できるなど、利便性は大きく向上しています。
 令和5年度は、この端末のより一層の普及を図るため、区役所本庁舎と、麴町出張所、万世橋出張所の3か所の窓口にて、マイナンバーカードにより証明書が発行できる端末（キオスク端末）を設置して窓口業務の迅速化・効率化を図るとともに、初めて端末を利用する方も安心して利用できるようサポートします。

事業費

予算現額

決算額

執行率

57,977,000円

49,258,176円

85.0%

事業実績

○令和5年度実績

(1) キオスク端末の設置

令和5年7月に、コンビニ交付サービスと同等のサービスが提供できるキオスク端末を、区役所本庁舎、麴町出張所、万世橋出張所に設置しました。

キオスク端末においては、各種証明書を一律100円引きで取得できます。

(2) コンビニ交付端末証明書発行数及び交付率

証明書の種類	令和5年度		令和4年度
	コンビニ交付発行数	コンビニ交付利用率	コンビニ交付利用率
住民票の写し	18,583通	35.9%	22.3%
印鑑登録証明書	11,314通	37.6%	24.1%
税証明書	2,522通	27.5%	14.1%
戸籍全部(個人)事項証明書	14,393通	27.0%	17.9%
戸籍の附票の写し	1,172通	15.4%	10.6%
合計	47,984通	31.6%	20.5%

※コンビニ交付利用率：コンビニ発行数／窓口を含む全体発行数

実績を踏まえた評価・課題
 令和6年度の取組状況
 令和7年度予算への対応

平成31年2月からコンビニ交付サービス提供を開始し、利用率は年々増加しています。初めて利用する方が不安なく操作できるようにサポートを強化し、コンビニ交付サービス利用のさらなる普及につなげ、区民の利便性を向上していくことが必要です。

令和6年度は、新たに富士見出張所、神保町出張所、神田公園出張所、和泉橋出張所の4か所にキオスク端末を設置し、利用方法の周知や職員が操作のサポートを行います。

令和7年度は、証明書発行数やマイナンバーカード交付率等の実績を踏まえて、さらなるコンビニ交付利用の促進とともに、窓口業務の迅速化・効率化に努めていきます。

所管課 地域振興部 総合窓口課

決算参考書

210頁

R5予算の概要

74頁

55 文化芸術鑑賞事業【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

伝統や歴史、文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになっています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

歴史、文化、芸術活動を身近に感じることができるよう、様々な活動が行われる環境づくりなどを進める。

（関連する主な分野別計画：千代田区文化芸術プラン（第四次））

事業概要

内容

区は、区民に身近に文化芸術に触れる機会を提供することを主な目的として、様々な文化芸術鑑賞事業を実施しており、令和4年度は、東京国際映画祭との共催事業として、映画祭と関連のある作品を上映する「千代田シネマセレクション」を神田地区の1会場で実施しました。
令和5年度は、この上映会を神田地区に加え麹町地区の計2会場での実施に拡充します。

事業費

予算現額

決算額

執行率

29,997,000円

28,670,896円

95.6%

事業実績

○令和5年度実績

千代田シネマセレクションの実施会場を2会場に拡大し、上映作品数も増やしました。

また、子ども向けの映画を上映する際に、ベビーカーで鑑賞できるようにし、親子で気軽に映画を楽しめる機会を創出しました。

（1）ベルサール半蔵門（令和5年9月23日、24日）

作品名	来場者数
①ぼくらのよあけ	112名
②川っぺリムコリッタ	198名
③ケイコ 目を澄ませて	111名
④あつい胸さわぎ	126名

（2）ベルサール神田（令和5年9月30日、10月1日）

作品名	来場者数
①犬王	112名
②少女は卒業しない	80名
③パンダコパンダ/パンダコパンダ雨ふりサーカスの巻	181名
④窓辺にて	187名

実績を踏まえた評価・課題
令和6年度の取組状況
令和7年度予算への対応

幅広い世代が文化芸術を楽しめる機会を提供できるよう、親子が参加できる機会の拡大等、事業内容のさらなる充実を図っていく必要があります。

令和6年度は、文化芸術鑑賞事業のうち「昼休みコンサート」について実施回数を増やし、親子向けのプログラムも行います。

令和7年度は、令和6年度に引き続き、事業を効果的に推進し、千代田区に住み集う人々が身近に文化芸術に親しめる機会を提供していきます。

所管課 地域振興部 文化振興課

決算参考書

212頁

R5予算の概要

65頁

56 ちよだアートスクエア【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

伝統や歴史、文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになっています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

歴史、文化、芸術活動を身近に感じることができるよう、様々な活動が行われる環境づくりなどを進める。

（関連する主な分野別計画：千代田区文化芸術プラン（第四次））

事業概要	内容	<p>ちよだアートスクエアは、平成22年6月に旧練成中学校に開館して以降、民設民営による運営の下、その専門性を活かしてアートの鑑賞・体験機会の提供のほか、地域コミュニティづくりにも取り組んできました。「千代田区文化芸術プラン（第四次）」では、文化芸術拠点施設として位置づけられましたが、現在の施設運営団体との契約が令和4年度末で満了するとともに、施設が老朽化していることから、大規模な改修が必要です。</p> <p>令和5年度は、次期運営事業者を選定するほか、改修に係る現状調査と設計を行うとともに、調査・設計中は事業者に代わり区が施設の運営を行うことで、同施設での区主催事業を継続します。</p>		
	事業費	予算現額	決算額	執行率
		99,108,000円	69,732,306円	70.4%
事業実績	<p>○令和5年度実績</p> <p>(1) 次期運営事業者の選定 令和4年度に策定した「新ちよだアートスクエア基本構想」に基づき、令和5年7月に次期運営事業者を公募しました。3団体からの応募があり、選定手続きを進めたものの、いずれの団体も基準点を満たさず不採用となったため、令和6年度に再選定を行うこととなりました。 選定にあたっては、「ちよだアートスクエア第3期運営団体選定委員会」を設置し、2回開催しました。</p> <p>(2) 改修に係る現状調査 施設の老朽化の状況を確認するため、改修に係る現状調査を実施しました。</p> <p>(3) 区主催事業の開催 調査・設計中のちよだアートスクエア活用の一環として、障害者アート支援事業を3回実施したほか、区内の2つの文化団体との共催事業として、文化連盟展及び文化芸術フェスティバルを実施しました。</p>			
	実績を踏まえた評価・課題 令和6年度取組状況 令和7年度予算への対応	<p>改修に係る現状調査の結果を踏まえ、早急に次期運営事業者を選定するとともに、改修に係る設計を進めていく必要があります。</p> <p>令和6年度は、次期運営事業者の再選定を行い、選定した次期運営事業者と連携を図りながら改修工事の設計を進めていきます。また、施設を使用できる期間は、区主催事業を実施します。</p> <p>令和7年度は、令和9年度のリニューアルオープンをめざし、改修工事に着手します。</p>		
所管課	地域振興部 文化振興課	決算参考書	212頁	R5予算の概要 66頁

57 区民体育大会【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

生涯にわたり学びやスポーツに親しむことで、充実した人生を送れるようになっていきます。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

区民が学習・スポーツを主体的に行えるよう、機会や場の提供など活動の環境づくりを進める。

（関連する主な分野別計画：千代田区スポーツ振興基本計画）

事業概要	内容	<p>区民体育大会は、区民体育の振興、福祉の増進、区民相互の交流を図ることを目的に開催してきましたが、天候不良やコロナ禍の影響等により、平成28年度の開催を最後に中止が続いていました。</p> <p>令和5年度は、人工芝生化の工事が完了する外濠公園総合グラウンドを会場として、多様な区民が集まり、楽しむことができる大会へと見直しを図り、7年ぶりに開催します。</p>
------	----	---

事業費	予算現額	決算額	執行率
	45,987,000円	45,224,976円	98.3%

事業実績	○令和5年度実績		
	(1) 名称：第61回千代田区民体育大会 ふれあいスポーツフェスタ		
	(2) 日時：令和5年11月12日 9時30分から15時30分まで		
	(3) 会場：外濠公園総合グラウンド（五番町先）		
	(4) 天候：雨のち曇り		
	(5) 来場者数：延べ7,000名		
	(6) 参加人数（延べ人数）		
	①競技種目		約2,000名
	内訳	得点種目	約900名
		オープン種目	約1,100名
②アーバンスポーツ・ワークショップ体験ブース			
内訳	親子ワークショップ	約100名	
	パルクール	約80名	
	ボルダリング	約230名	
③キッチンカー利用者			
		約380名	

実績を踏まえた評価・課題 令和7年度予算への対応	令和3年度から令和4年度まで、大会の抜本的な見直しのために「千代田区民体育大会の見直し検討会」を設置し、検討会での内容を踏まえ、令和5年度は試行的な位置づけで大会を開催しました。今後の大会においては、幅広い世代の区民が気軽に参加できるような取組みを実施していくことが課題です。		
	令和6年度は、大会後の参加者アンケートの結果や千代田区民体育大会実施委員会等の意見を踏まえて見直しを行い、大会を実施します。		
	令和7年度は、令和6年度に引き続き、新たに区内に転入してきた区民等がスポーツを楽しみながら、交流を図れる大会を実施します。		

所管課 地域振興部 生涯学習・スポーツ課	決算参考書	212頁	R5予算の概要	64頁
----------------------	-------	------	---------	-----

58 少年少女団体スポーツ施設利用支援【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

生涯にわたり学びやスポーツに親しむことで、充実した人生を送れるようになっています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

区民が学習・スポーツを主体的に行えるよう、機会や場の提供など活動の環境づくりを進める。
 （関連する主な分野別計画：千代田区スポーツ振興基本計画）

事業概要	内容	<p>区内でスポーツをすることができる場所が限られる状況を踏まえ、区は、中学生以下の子どもで構成される団体が屋外スポーツ施設を利用した際の料金の補助や、江戸川河川敷少年サッカー場の借上げを行い、少年少女団体のスポーツ環境の確保に努めています。</p> <p>令和5年度は、これまでの屋外スポーツ施設に加え、少年少女団体が、体育館等の屋内施設を利用した場合の料金についても補助（補助限度額：1団体につき年間10万円）の対象とすることで、スポーツに親しめる環境のさらなる充実を図ります。</p>
------	----	---

事業費	予算現額	決算額	執行率
	9,740,000円	8,839,500円	90.8%

事業実績	○令和5年度実績			
	(1) 少年少女スポーツ団体スポーツ施設利用補助金の交付			
		令和5年度	令和4年度	令和3年度
	利用団体数	1団体	0団体	0団体
	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
実施日数	81日	78日	53日	
利用件数	363コマ	348コマ	216コマ	

令和7年度予算への対応	<p>実績を踏まえた評価・課題</p> <p>施設利用補助制度の補助実績が少ないことから、周知活動を強化し、制度の認知度を向上させるとともに、利用団体のニーズを把握していく必要があります。</p> <p>令和7年度は、令和6年度に引き続き、チラシの配布やSNS等の活用により補助事業の周知に努めながら、利用団体のニーズに応じた補助を継続し、少年少女団体がスポーツを行うことのできる環境のさらなる充実を図ります。</p>
-------------	---

所管課 地域振興部 生涯学習・スポーツ課	決算参考書	214頁	R5予算の概要	64頁
----------------------	-------	------	---------	-----

59 新スポーツセンター基本構想の策定

第4次基本構想のめざすべき姿等

生涯にわたり学びやスポーツに親しむことで、充実した人生を送れるようになっていきます。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

区民が学習・スポーツを主体的に行えるよう、機会や場の提供など活動の環境づくりを進める。

（関連する主な分野別計画：千代田区スポーツ振興基本計画）

事業概要	内容	<p>区は、老朽化した現在のスポーツセンターについて、多様化する利用ニーズや、社会環境の変化に対応した、誰もが楽しくスポーツに親しめる新スポーツセンターとして整備するための検討を進めています。</p> <p>令和5年度は、川沿いの立地を活かしながら、千代田区に住み、働き、学ぶ全ての人が、交流を図りながら気軽にスポーツを楽しみ、生涯を通じた健康づくりに取り組めるスポーツ施設として整備するため、これまで検討してきた新スポーツセンターの基本構想を策定のうえ、施設整備の調査検討を行います。</p>		
	事業費	予算現額	決算額	執行率
		30,000,000円	15,499,000円	51.7%
事業実績	<p>○令和5年度実績</p> <p>(1) 川沿いの立地を活かした施設整備の検討 施設のあり方やゾーニングに関する調査・検討を行いました。</p> <p>(2) 代替施設の調査検討 令和4年度に実施したアンケートの結果などを踏まえながら、工事期間中の代替施設の検討を行いました。</p> <p>※川沿いの立地を活かした施設整備の検討を進める中で、周辺環境や隣接する施設の現況等を踏まえて幅広く検討する必要があり、基本構想の策定、事業方式の調査業務の実施に至らなかったため、執行率が低くなりました。</p>			
実績を踏まえた評価・課題 令和6年度取組状況への対応 令和7年度予算への対応	<p>新スポーツセンターにおいては、スポーツセンターとしての機能や設備の検討に加えて、「水辺を魅力ある都市空間に再生する条例」等を踏まえた施設整備についても検討していく必要があります。</p> <p>令和6年度は、川沿いの立地を活かした施設整備の検討や事業方式の調査業務を進め、基本構想の策定を行います。</p> <p>令和7年度は、基本構想を基に、基本計画の策定を進めます。</p>			

所管課	地域振興部 生涯学習・スポーツ課 (施設整備担当課長)	決算参考書	214頁	R5予算の概要	64頁
-----	--------------------------------	-------	------	---------	-----

60 企画展・特別展【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

伝統や歴史、文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになっています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

歴史、文化、芸術活動を身近に感じることができるよう、様々な活動が行われる環境づくりなどを進める。
（関連する主な分野別計画：千代田区文化芸術プラン（第四次））

事業概要	内容	<p>区には、貴重な文化資源が数多く継承されています。区が収集した歴史・民俗・美術・考古などの資料を活かしつつ、郷土の歴史と文化についての理解を深められるよう、興味深いテーマで企画展・特別展を開催します。</p> <p>令和5年度は、関東大震災が発災して100年の機を捉え、首都東京の復興をテーマにした特別展を開催します。</p>

事業費	予算現額	決算額	執行率
	39,435,000円	37,093,524円	94.1%

事業実績	<p>○令和5年度実績</p> <p>関東大震災から100年となる節目をきっかけに、当時の人々が直面した大災害と復興をテーマとし、100年前の区の様子や今につながるまちづくりの歴史について展示等を行いました。</p> <p>(1) 展示内容</p> <p>名称：特別展 関東大震災100年「首都東京の復興ものがたり—未来へ繋ぐ100年の記憶—」</p> <p>会期：令和5年9月1日～11月26日</p> <p>会場：千代田区立日比谷図書文化館 1階 特別展示室</p> <p>(2) 展示成果</p> <table border="1"> <tr> <td>入館者数</td> <td>28,651名</td> </tr> <tr> <td>オープニングイベント（ミニ講演会） 来場者数</td> <td>139名</td> </tr> <tr> <td>展示解説（全4回） 参加者数</td> <td>53名</td> </tr> <tr> <td>関連講座（全3回） 参加者数</td> <td>186名</td> </tr> <tr> <td>まち歩き企画「震災復興の痕跡を巡ろう」 参加者数</td> <td>19名</td> </tr> </table>	入館者数	28,651名	オープニングイベント（ミニ講演会） 来場者数	139名	展示解説（全4回） 参加者数	53名	関連講座（全3回） 参加者数	186名	まち歩き企画「震災復興の痕跡を巡ろう」 参加者数	19名
	入館者数	28,651名									
オープニングイベント（ミニ講演会） 来場者数	139名										
展示解説（全4回） 参加者数	53名										
関連講座（全3回） 参加者数	186名										
まち歩き企画「震災復興の痕跡を巡ろう」 参加者数	19名										

令和7年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	<p>特別展及び関連イベント等の実施により多くの方の来館につながりました。郷土への誇りや愛着を持ち貴重な文化資源を次世代に継承していくためには、今後も区の歴史や文化に理解を深める機会や体験を提供していくことが必要です。</p> <p>令和6年度は、竹久夢二の生誕140年及び没後90年の記念として、区が所蔵する作品群と、金沢湯涌夢二館との共催展示「夢二式モデルルームへようこそ！—夢二好みの室内空間—（仮）」を開催します。</p> <p>令和7年度は、令和6年度に引き続き、より多くの区民に地域の歴史や文化に関心を持ってもらえるよう、区民が文化財に触れる機会を充実させていきます。</p>

所管課 地域振興部 文化振興課	決算参考書	216頁	R5予算の概要	67頁
-----------------	-------	------	---------	-----

61 文化財保護一般【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

伝統や歴史、文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになっています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

歴史、文化、芸術活動を身近に感じることができるよう、様々な活動が行われる環境づくりなどを進める。
 （関連する主な分野別計画：千代田区文化芸術プラン（第四次））

事業概要	内容	区で保管する埋蔵文化財が増加しており、収蔵環境の改善のため、令和5年度は、新たに民間の収蔵施設を賃借し、日比谷図書文化館、東京都千代田合同庁舎（内神田）と合わせて3つの施設で収蔵資料の再整理を行います。 また、区内の埋蔵文化財包蔵地において、建物の建設等に伴い埋蔵文化財の発掘調査が必要になった場合、その費用は原則として建設等を行う事業者や個人が負担することになっていますが、個人が営利目的でなく行う住宅建設等については、区が発掘調査を実施することにより、区民の経済的負担を軽減します。
------	----	--

事業費	予算現額	決算額	執行率
	74,857,000円	35,229,518円	47.1%

事業実績	○令和5年度実績 （1）収蔵施設の借用 新たに民間収蔵施設（新砂2号倉庫）を5年3か月の期間（令和6年1月～令和11年3月）で借用し、既存の収蔵施設に収蔵しきれない埋蔵文化財や、令和4年度発掘調査により新たに保管が必要となった埋蔵文化財を搬入しました。 あわせて、収蔵品の配置状況を記録した配置図及び台帳を作成しました。 （2）埋蔵文化財緊急調査 補助対象者との協議及び事前調整の結果、令和5年度の発掘調査の実施には至りませんでした。 ※新砂2号倉庫の賃貸借期間が令和6年1月からとなったことや、埋蔵文化財緊急調査の実施がなかったことにより、執行率が低くなりました。
------	---

令和7年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	埋蔵文化財を始めとした区の文化財を後世に伝えていくためには、調査・発掘を行うことでその存在を明らかにし、適切な収蔵環境下で保管する等の取組みが必要です。 令和7年度は、令和6年度に引き続き、事業者や個人から広く相談を受け、必要な発掘調査等を実施するとともに、適切な収蔵環境の確保を継続していくことで文化財の保存活用の推進に努めます。
-----------------------------	---

所管課 地域振興部 文化振興課	決算参考書	216頁	R5予算の概要	67頁
-----------------	-------	------	---------	-----